

小学校低学年の部

特選 課題図書部門

すきをみつけにいこう



揖斐川町立清水小学校一年

藤井 悠真

このほんにでてくるおんなのこは、すうがくがすき。すうがくってなについておかあさんにきいたら、ちゅうがくせいになつたらぼくもべんきようするんだって。このおんなのこは、まちへいったらすうがくのことであたまがいっぱいになるみたい。でも、ぼくはそんなふうにかんがえたことはないよ。

じゃあぼくはどうだろうってかんがえてみた。ぼくがすきなのは、すうがくじゃなくてたたかいごっこ。おちているきのえだはけんになるし、おおきなはっぱはたてになるよ。たかいだんからジャンプしてこうげきしたらかっこいいな。ぼくはまちへいったらたたかいのことであたまがいっぱいだよ。

おかあさんはカメラがすきで、まちへいったらしゃしんがうまくとれるばしよをさがしている。おねえちゃんダンスがすきで、かがみみたいなかべがあればおどっている。おとうさんはさんがすきで、おもしろいものをみつけたらぼくにおしえてくれるよ。

おなじまちへいっても、みんなすきなことがうからみえかたがちがうっておもしろいな。ぼくはみえないきとずっとたかかっていてよくあきないねってわらわれることがあるけど、すきなことからぜんぜんあきない。すきなことをわらわれるとかないきもちになるから、ぼくはほかのひとのすきなことをわらったりしたくないよ。

ぼくもちゅうがくせいになつたらすうがくがすきになれるのかな。あそびもべんきようもいっぱいやって、すきなことをどんどんふやしていきたい。ぼくのしらないことをみつけにいきたいな。すきなことがふえれば、どこへいってもたのしくなるとおもうから。

ミゲル・タンコ 作

『すうがくでせかいをみるの』ほるぷ出版社

【講評】

読書を通して、家族の好きなことに興味をもち、同じ町へ行くても違う見方があることに気付きました。そして、他の人の好きなものも大切にしたいという気持ちを表現することができていたところが素晴らしいです。これから色々なことに挑戦して、自分の世界を広げていってください。